



ショックは十分なストロークを確保したロングケースタイプ。  
車種ごとに足まわりの構造を分析してアゲ系専用の車高  
調に仕上げている。写真は試作品だ。



車高を上げても伸びきストロークはしっかりと確保されて  
いる。よりインパクトのあるアゲ系スタイルを望むのなら車  
高調がオススメ

GTからミニバン／ワゴンまで数多くの足まわり系アイテムをラインアップするタナベに新たに加わったプラントが旬のSUVをターゲットにしたディバイドだ。当企画、番外編としてアゲ系の足まわりも取り上げてみる。このRAV4には車高調とスプリングの2アイテムが用意されており、共にワイルドなアゲ系スタイルを描き出している。タナベの技術力からすればアゲ系の足まわりバーツを製作するのは簡単なこと。しかし、たた単にスプリングの自由長やショックのケース長を伸ばしただけのアイテムじゃない。車高が上がるってことはロール量やフランキ感が大きくなって走行安定性が悪くなってくる。そのためスプリングのバネレートやショックの減衰力を高めて足まわりを引き締めるわけだが、その分乗り心地が悪くなってしまう。タナベでは車種に見合った適切な車高とバネレートアップ、車高調はきめ細かな減衰力40段調整によってアゲ系スタイルながら、路面からの不快な衝撃とロール量を抑えた快適な足に仕上げている。

ライト派も本格派も  
楽しめるアゲ系フォルム

# TANABE

タナベ  
☎タナベ 072-728-6700  
<https://www.rd-tanabe.com/>



車高はノーマルからフロント  
が+46mm、リヤが+47mmまで  
で上げることが可能。最高  
値にすれば荒れオフロード  
走行も楽しめる



フロントのアッパーマウントはキャンバー調整式。車高を上げるとキャンバーはポジティブ側に傾くので矯正してやりたい



ローダウン用車高調で培った全長調整式。シ  
ョックのストロークを犠牲にすることなくフラン  
キー側で車高が調整できる

## ヘッドライトのレペライザーもラインアップ

リヤ側の車高が上がるとヘッドライ  
トの光軸が変わってくる。別売りの  
セルフレペライザーアジャストロッド  
で調整すればいい





車高調よりもアップ簧は控えましたが、輪正と比べると明確にアップしているため、まずはスプリングから交換でも、十分サマになる。



リヤ側は純正同様の棒形形状。冷間製法によってなだらかな形状に成形されておりバネートも穏やかに立ち上がってくる。

純正ショックをベースに車高を上げているため伸び側のストロークに限界がある。そのため度な車高アップに留めている。



コストを抑え気軽にアゲ系スタイルを楽しむならスプリングの出番。乗り心地もマイルドで、ノーマルがらさほど大きな変化はない。



## DEVIDE UP40

ディバайдUP210(1台分)

●¥50,600 (RAV4)

□車高アップ量:E30~40mm R30~40mm

□バネレート:E3.2kg/mm R4.0kg/mm

対応車種:RAV4、ハリアー、プラド、ライズ、ヴェゼル、CX-3、CX-5、

CX-8、エクストレイル、エクリプスクロス、テリカD-5、クロスビー、

ジムニー、ハスラー、C-HR、スペーシアキア他多数

リフトアップ  
スプリング



助手席インプレッション

PASSENGER SEAT'S IMPRESSION



足まわりメーカーの着目点!

MAKER'S CLOSE-UP

「試乗した車高調の減衰力は4段調整の真ん中でした。マットテレンのオフロードタイヤでも不快感はなく、ロール抵抗も程よく抑えられています。とにかくスプリングにおいては純正と乗り心地は変わらない印象です」

ロングケースになれば負担は大きくなる。タナベでは厳しい社内基準を設けて縦・横方向の100万回の耐久テストを実施している

DEVIDE FT

E16×7-35

ディバайдはSUVをターゲットにしたホイールも取り揃えている。FTはディープゴールドを配したストロングな12本スポークタイプ



他にもRAV4に最適なパーツを装着

サステック・  
ストラットタワーバー

ストラットタワーバーもタナベの看板アイテム。ボディ剛性が程良く高まり、足まわりの性能を最大限に引き出すことが可能

